

## 行き詰まり症候群

### 12. 人々の必要に関わるミニストーリー

アンディ美湖

(訳：美湖純子)

私を迎えに来てくれたチャプレンは緊張した面持ちで携帯電話で話していました。結婚カンファレンスの講師として招かれた私が Santa Barbara 空港のゲートを出た時、このような状況を考えもしませんでした。彼は相手が自殺を思い留めるよう説得していました。電話の相手の人は、奥さんが駆け落ちして今家を出て行ったと、混乱していました。後でチャプレンが話してくれたのですが Vandenberg 空軍基地では、1ヶ月に4 - 5人の自殺未遂があるということです。殆どは結婚問題が原因だそうです。この旅で、自殺問題は基地の中で蔓延していて、軍人の家族は大きな攻撃の中にいるということを知りました。何年も私は横田、厚木、横須賀基地で結婚カンファレンスをしてきましたが、この経験は私の目をさらに大きく開きました。その週末、私は基地でのチャプレンとリーダーの自殺問題を扱うミーティングに参加しました。他の基地でその週、自殺で2人の航空士が亡くなりました。

週末の結婚カンファレンスに参加した人たちを見渡しながら、私の心は痛みました。多くの人々はひどく傷ついて、参加者の中にはモルモンやイスラム、魔術師もいました。圧倒されるほどの必要を感じ、藁をも掴む思いでクリスチャンの集会にさえ参加したのです。

必要は膨大で、チャプレンは週に約40時間カウンセリングすると言いました。しかも殆どは結婚関係の問題だそうです。そして週30時間をなすべき他の職務に費やします。彼自身妻と二人の小さい子供がいます。私が空港に着いた晩、彼が自殺志願者を他のチャプレンにお願いするため電話をかけたとき、そのチャプレンは5人の子供達とゲームをしていたところだったと、彼は私に涙声で話しました。チャプレン達も圧倒されるほどで、自分たちの家族との時間も犠牲になっているのです。私は日本の基地の結婚問題の状況を思い起こしました。そこのチャプレンは『まるでもぐらたたきをしているようだ』と話していました。

その週結婚カンファレンスで、たくさんのすばらしいことが起こりました。6人が救われ、多くの人が主のもとに立ち返りました。殆どのカップルが自分達の結婚を守る決断をしました。家路に帰る飛行機の中で私はこう言っていました。『主よ、いつでもどこでも、軍人家族に仕えます。』

去年の秋、私は妻とスイスで開かれたファミリーミニストーリーの国際シンポジウムに参加し、どの国においても状況は同じであることを聞きました。家族は非常に苦しんでいるのです。けれどこれは一つの大きな必要に過ぎません。必要は他にもたくさんあるのです。私は、人々の必要に関わろうとしている教会が健全な教会だと信じます。もし教会が人々の必要に関わろうとしないなら、それは定まらない存在であり、無関係な代物となるのです。

アメリカの教会は人々の必要に関わる問題で葛藤してきました。今日 1500 万の信者が教会へ行っていません。大多数はベビーブームに生まれた人で、教会が自分の必要に応えてくれないという理由で教会を去りました。どうにかしてこの人達が戻ったなら、膨大な数の人々が教会に殺到するのです。アメリカの 35 万のそれぞれの教会が 40 人の新しいメンバーを加えることになり、その結果はその国のすべての教会で 44%の増加となるのです。

私は、日本の人々はキリスト教にオープンだと思います。しかし問題は、「教会が人々に関わろうとしているか」です。日本で行われる多くのアンケートによると、人々の関心事は、第一に健康、第二に家族となっています。私達はこの関心事に対応しているでしょうか。取り扱おうとしていますか。どれだけの教会が人々の必要を考えているでしょうか。イエス様はパリサイ人と同じ闘いをされました。イエス様は常に人々の必要を満たされました。食べ物を与え、救い出し、癒し、受け入れ、しばしば安息日に、安息日は人のためにあり、人が安息日のためにあるのではないことを示されました。しかし私達はしばしば人々を教会の型に当てはめようとしているのです。人々のための教会ではなくて。

クリスチャンの中にも色々な必要があるのです。私がアンケートを取ったクリスチャンの中で、3 分の 1 は怒りと自己嫌悪で葛藤しているという結果を悲しく思いました。又、ノースカロライナ州で働いている牧師のためのカウンセラーの意見では、教会の問題の 95%は育った家族関係に起因しているということです。今日大多数の牧師達は、うつ病や、墮胎の悲痛、離婚からの回復、問題児、中毒症、虐待、拒食症、過食症、障害者をもつ家庭のような状況に何処から対処し始めてよいのか戸惑ってしまうことでしょう。しかしこれらが人々の住んでいる世界なのです。幸いなことにこれらの必要のすべてを満たすことが牧師の仕事ではありません。しかしこれらの必要に応えていくために、それに対応するコミュニティーを築くことです。

私達の周りの大きな必要を考えると、人々に関わろうとしないミニストリーで時間を無駄にすることはできません。人々の必要に関わるミニストリーをするか、不合理なミニストリーに屈服するかのどちらかです。Ray Anderson は次のように言いました。「病的に意気消沈し、専門のセラピストの助けを必要としている一人一人は、日曜日の朝に礼拝席で座って慎重に隠されていることを ‘牧師が分かってくれる’ のを期待して、受動的に待っている何百の人々を代表しているのです。」

Anderson は若い牧師/伝道師にこのようにアドバイスをしています。「毎月一つの説教を、道端を歩き、後ろの席に座り、疲れてぼろぼろになり、今日何か良いニュースがあるかみようとしているイエス様にしなさい。」(あなた方が、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。)

私は人々の必要に関わるミニストリーを両親から学びました。日本が戦後混乱していた時代、人々はどん底でした。その時、両親は遠いサンフランシスコで居心地の良い生活をしていましたが、驚くべきことに彼らはすべてを売り払い、日本に移り住みました。多

くの病院に薬もありませんでした。当時、時代の状況を利用して日本で財産を築いていた宣教師もいましたが、両親は家を買ったお金で 5000 ドル分の薬をアメリカで買い、日本の人々にあげました。1959 年に日本を去った時、彼らは多くの借金がありました。その借金を返済するのに 12 年かかりました。彼らは人々の必要に大いに応えたのでした。

ソニアはモスクワに住んでいる控えめな女性です。ある日、食料品を買って市場を出ると、群集の中の一人の女性に目が止まりました。その時神様がソニアに「食料品を彼女にあげなさい。」と語られました。しかし、彼女は躊躇しました。「私の家族はどうなるのですか？ 私達も食料が必要です。」神様はあなたの家族を助けると約束されたので、ソニアは彼女に食料をあげました。その女性はとても喜び、感謝して去っていきました。その時神様がその女性の後について行きなさいと言われました。裏道を通って、みすばらしいアパートにきました。そこでソニアは家に帰りました。

数週間後、ソニアが祈っていると、神様が言われました。「ソニア、あの女性を覚えているかい？ 彼女にセーターを 3 枚買いなさい。」ソニアはセーターを買って、その女性に届けました。その後、神様が再び語りました。「あの女性を覚えているかい？ 彼女に靴を買いなさい。」「でも主よ、サイズが分かりません。」ソニアは戸惑いました。神様は「サイズ 8」と言われました。それでソニアは靴を買い、届けました。しばらくして、神様がもう一度語られました。「あの女性を覚えているかい？ 彼女に下着を買いなさい。」ソニアはもう躊躇しませんでした。下着を買って、その女性の家の扉をノックした時、その女性は啞然として、感謝を表しました。

「私の家は粗末ですが、どうぞ中にお入りください。」と彼女が言いました。中に入ると、彼女はソニアに説明しました。「私の主人は酒飲みで、私達はお金がありません。先月、お金はありませんでしたが市場に行きました。そしたらあなたが食料をくださいました。数日後、寒くなってきたので娘達も私もセーターが必要でしたが、主人はセーターのお金は無いと怒鳴りました。その時あなたが 3 枚セーターを届けてくださいました。数週間経って、私がバスに乗ろうとした時、片方の靴が泥沼にはまって取れませんでした。その時あなたが靴を持って現れました。ちょうど私のサイズの靴を。その後、ついに私も仕事が見つかりましたが、今日の午後その仕事のための身体検査があると知りました。問題は、私は下着を持っていませんのでとても恥ずかしくて、今日の検査に行くのはやめようと思っていたところでした。その時あなたが下着を持って来てくれたのです。」その女性は間を置いて、ソニアに尋ねました。「なぜいつも私の必要が分かるのですか？」ソニアは答えました。「神様が語られるのです。」「そうだと思います。」と彼女は言いました。そこでソニアはこの傷ついた女性が真の必要を満たされる神様を彼女の心に、人生にお迎えするよう導きました。